



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和6(2024)年8月29日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

学校HP



一人一人の努力、みんなの協力、そして笑顔で 充実の2学期を!

充実した夏休みを過ごし、一回り大きくなった子どもたちが学校に戻ってきました。大きな事故もなく2学期を迎えられたこと、何よりもうれしく思います。これも、保護者・地域の皆様方の温かい見守りとご指導のお陰と感謝申し上げます。

始業式では、1学期の終業式で話した3つの宿題について振り返り、まずは「命を守る」ことができたことを誉めました。そして、「自分のことは自分でする」という自立の姿をこれからも続けていくことや何かに挑戦した勇気と努力を自信とし、2学期も存分に力を発揮してほしいと話しました。やるべきことを自ら考え、そして考えるだけでなくそれを進んで実行していく力と自立・自律の力をますます高めてくれることを期待しています。

子どもたちがどんな夏休みを過ごし、自分がどのように成長したかを聞くのがとても楽しみです。夏休みを振り返り、成長し、たくましくなった自分に気づき、2学期のめあてを明確にしてスタートします。学校としては、学力テストの結果や教職員による学校評価を踏まえて、これからも『チーム新舞鶴』で、一人一人の力をさらに高めていけるよう力を尽くす所存です。同時にいじめの未然防止や早期解決に向けても組織的な取り組みを継続し、居心地のよい学校づくりに努めてまいります。

2学期は、運動会をはじめ、音楽会や持久走記録会など子どもたちの成長を感じていただく行事や取り組みがたくさんあります。5年生が6日に社会見学に出かけるのを皮切りに、各学年そして全校での行事を次々と予定しています。あわただしい毎日が続きますが、まずは子どもたちの健康と安全を大切に組み込んでまいります。そんな忙しい毎日を乗り切っていくためには、日々の「早寝・早起き・朝ごはん」という規則正しい生活習慣が大切です。できるだけ早く夏休みモードから通常学校モードに戻し、暑さや忙しさに負けない体づくりを行ってほしいと思います。学期初めの「リズムある生活(生活点検)」の取り組みも上手に活用しながら、健康面・体力面の充実のため、ご家庭のご支援もよろしくお願いいたします。



今学期も、子どもたちの心身の健康と安全を最優先にしながら、一人一人が自分のよさを最大限発揮できるよう教職員一同力を合わせ取り組んでいきます。引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

相手をリスペクト(尊重)するということ

今年、オリンピックでの日本選手の活躍に一喜一憂する夏となりました。海外でのオリンピックにおいて、史上最高のメダル数を獲得したとても素晴らしい大会となったわけですが、メダルを獲得できたのはほんの一握りの選手で、その多くは夢破れた選手たちです。世界中の人たち同様に、私もハラハラドキドキしながら、いろいろな種目をテレビで観戦しました。その中である選手の発言が心に残りました。それは、女子スケートボードのパークに出場した四十住さくら選手の言葉です。彼女は、前回の東京大会でこの種目で金メダルを獲得し、連覇を目指してパリ大会に臨んだわけですが、予選での得点が伸びずに他の選手の結果如何で予選敗退が決まる状況でした。その四十住選手が予選を滑り終えた直後のインタビューで、「人の失敗は祈りたくない。でも、決勝には行きたいので変な気持ちになっちゃうけど、いけるように祈ります。」と答えました。連覇を期待され、相当のプレッシャーを背負っての出場で、まさかの予選敗退なんてことになったら考えると、つつい他の選手の失敗を期待してしまいうのですが、そんな状況の中で、「人の失敗は祈りたくない。」との答えに「ハッ」とさせられました。オリンピックに出場することやメダル獲得を目指し、4年間いろいろな欲望や葛藤を乗り越え、出場したアスリートの姿からたくさん学ぶことができましたが、今回、「相手をリスペクトする」というよく耳にする言葉を、実際に目の当たりにできたことは私自身の大きな学びになりました。



今日から学校生活が始まります。様々な状況の中で生きる子どもたちが集団で生活する学校。そこはいろいろな価値観や心情、考え方が交わる場ですから、すれ違いや思いもよらないトラブルも発生します。それを上手に解決し、自分で居心地のよさを創っていくためには、「相手を尊重する」ということは絶対条件になってきます。まだまだ未発達な小学生ですので、大人の支えは必要です。「相手を尊重することのできる人間」に成長できるように学校と家庭、そして地域が力と心を合わせ、子どもたちをよりよい方向に導いていきたいと思っております。